

はだの 農業委員会だより

第117号
平成25年7月発行

編集・発行

秦野市農業委員会

〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号

TEL 0463-82-9654

E-mail noui@city.hadano.kanagawa.jp



棚田に子供たちの歓声

6月8日(土)表丹沢菩提里山づくりの会(相原國雄会長)は、里山事業の一貫で北小学校の生徒と応募で参加した市民とともに菩提の棚田で田植えを行いました。

田植えに参加した生徒たちは美味しいお米ができるよう丁寧に田植えをしていました。

おもな内容

■ 平成25年度全国農業委員会会長大会 他	2
■ 支援センター通信	3
■ 農業委員紹介 他	4
■ 農家の声	5

■ 平成25年度農業関係施策 他	6
■ 相談コーナー 他	7
■ カメラスケッチ 他	8

基本農政の確立に向けて

平成25年度 全国農業委員会会長大会

5月30日、全国農業委員会会長大会が東京都内の日比谷公会堂で開かれ、全国の農業委員会会長など約2000人が参加しました。大会では基本農政の確立に向けた提案、国益を守れない環太平洋連携協定（TPP）交渉への反対を求める要請などを決議しました。

大会終了後には代表団が農水省や各政党を訪れ、決議内容に関する政策の実現を要請しました。



大会の様子

〈提案決議の主な内容〉 ①基本農政の確立

- ① 目指す農業・農村の姿
- ② 農地制度の実効性の確保
- ③ 「日本型直接支払い」「担い手総合支援」の具体化
- ④ 地域振興対策の強化
- ⑤ 都市農業の振興
- ⑥ 農業の新分野の開拓
- ⑦ 食の安全・安心対策の推進
- ⑧ 東日本大震災・原発事故へ

の万全な対応

- ⑨ 消費税率引き上げへの対応と機能の強化
- ⑩ 農業委員会系統組織の体制

- ② 国益を守れないTPP交渉に反対を求める要請
- ③ 農業委員会活動の「さらなる取り組み」に関する申し合わせ
- ④ 情報提供活動の一層の強化に関する申し合わせ

第2回 女性農業委員の会総会

女性独自の視点を活かし

5月20日、横浜市内のアーバンネット横浜ビルで女性農業委員の会第2回総会が開かれ、秦野市の女性農業委員3名を含む会員や農業委員会事務局職員ら26人が出席しました。24年度活動報告と25年度活動計画の策定について審議が行われ、承認されました。

また、女性・青年農業者、認定農業者等の多様な人材を農業委員に選出する取り組みを申し合わせ、決議されました。



挨拶する綱島会長
(綾瀬市農業委員会)

その後の研修会では、農林水産省経営局就農・女性課の荻野喜江女性・高齢者活動推進室長を講師に、「地域農業の活性化や6次産業化に女性の能力を活かすために」というテーマで講演が行われました。荻野室長から、農業経営状況の変化の調査のために集計した農家の経営規模などのデータが紹介され、女性が経営に参画している農家は経営規模が大きく、多角化に取り組んでいる傾向が高いと説明を受け、女性の能力の積極的な活用が期待され、支援されていることが理解できました。



研修会の様子

総会後、女性農業委員の組織化を図るとともに資質向上、女性農業委員の更なる登用促進や相互交流に取り組むための情報交換会が開催されました。

(清水富美子委員)

平成25年度 全国情報会議

4月10日、東京都文京区の椿山荘で平成25年度全国情報会議が開かれ、「農業委員会だより」全国コンクール、全国優良情報活動の表彰などを受けた農業委員会関係者が参加しました。

情報活動功労者として秦野市農業委員会の和田総会長をはじめ6農業委員が表彰されました。また、全国農業新聞の普及拡大に顕著な成績をおさめたとして普及優秀農業委員会としても表彰されました。



表彰された和田総会長

支援センター通信

うちほおの うめえもん 食ってつてけえろ
地産地消弁当を販売



実行委員会メンバーが販売

5月15日に、秦野の農村レストラン実行委員会（大木敏子会長）が、はだのじばさんと鶴巻の弘法の里湯で地産地消弁当を販売しました。この日は、はだのじばさんで20食、弘法の里湯で50食を販売し完了しました。

この日の弁当は、浅漬け、たけのこメンマ、春菊のごま和え、落花生煮、たまご焼き、煮物、野菜の天ぷら、鶏肉のから揚げ（塩麴漬け）、たけのこご飯。鶏肉以外の材料は全て秦野産が使われており、ヘルシーでボリューム満点のお弁当でした。



販売された地産地消弁当



荒廃農地実践活動

活動園場にサツマイモ

6月8日（土）西田原にある10aの実践活動園場で荒廃農地解消市民ボランティア約30名が参加し、サツマイモ800本を植え付けました。

サツマイモは、秋に収穫した後、11月の市民の日で荒廃農地解消活動をPRするため使用される予定です。



お客さんに地産地消をPR

23年度に発足。これまで、たばこ祭りや様々なイベントで出店し、広く地産地消をPRしてまいります。

地産地消弁当は弘法の里湯、はだのじばさんで、毎月第2、第4火曜日に販売してまいります。

農地の適正管理についで

貸したい農地は、

農地銀行へ

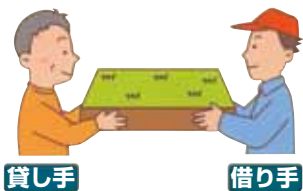
近年、農業者の高齢化などにより遊休農地が増加しています。農地が遊休化すると雑草・雑木が繁茂し、病虫害や火災の発生原因となる恐れがあります。また、有害鳥獣の潜入や産業廃棄物等の不法投棄の場所となることも考えられ、周辺農地や近隣住民に多大な迷惑を及ぼします。草が出るこの時期に定期的な草刈りをお願いいたします。

◎作付していない農地で貸出意向がある場合は、農地銀行へ登録することができません。登録されると、農地を借りた方が現れた時にあつせんすることができません。

ただし、登録した農地は、貸借が成立するまで所有者が責任を持って、適正管理を行って下さい。

また、立地条件等により、登録できない農地もあります。※お問い合わせは、支援センターまで

☎ 8117800



貸し手

借り手

農業委員紹介コーナー



松下 勲男 (本町地区)



○担当生産組合

上乳牛、本乳牛、乳牛振興、
乳牛、曾屋、山谷、御門、新
御門、入船

○1月24日生まれ

水瓶座

○趣味 仕事、ゴルフ

○主な作物

露地野菜

○ひとこと

アベノミクスは私達の生活
の中になかなか浸透してきま
せんが、日々健康で仕事ができ
る事に、幸せを感じています。

木村 眞澄 (議会)



○10月16日生まれ

天秤座

○趣味 詩吟、ウォーキング

○ひとこと

昨年10月、かながわ女性農
業委員の会が設立され本市か
ら3名の女性農業委員が会員
となりました。これまで総会
等での研修や、第一線で活躍
している女性農業委員さんの
農業への取り組みや情報交換
できる場があり、とても勉強
になります。目標は女性の力
の発揮、組織力の結集で「食
える農業」にしていきたいで
す。

相原 國雄 (北地区)



○担当生産組合

菩提原下、菩提原上、菩提
中東、菩提中西、菩提上東、
菩提上西

○12月15日生まれ

いて座

○趣味 菊盆栽づくり(勉強
中)

○得意な作物

美味しい菩提の棚田米

○ひとこと

農業委員の仕事の一つとし
て、優良農地の確保と中核農
家への農地の集約化を図り、
経営の安定した
農家を増やしたい。



林 道弘 (北地区)



○担当生産組合

戸川上、戸川中横道、戸川
中寺脇、戸川原第1、戸川原
第2、戸川西、三屋

○11月25日生まれ

いて座

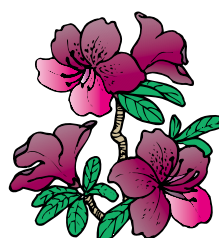
○趣味 ロッククライミング

○得意な作物

クリスマスローズの育種

○ひとこと

どんなに忙しくても、週に
一日は趣味の時間を作り、仕
事を忘れて、気分転換するよ
うにしています。



農地基本台帳を集計 平成25年4月1日

○農家戸数	2,170戸
○農業従事者	4,255人
○経営農地面積	1,274ha



事務局人事

(平成25年4月1日)

お世話になりました

深川 和幸

(障害福祉課へ)

よろしくお願ひします

北村 好美

(水道業務課から)

農家の声



野菜ソムリエとしての食育活動

諸星 洋子（渋谷）

「リ工倶楽部」に参加し、10名の仲間と活動しています。月に一度の研究会では、旬の野菜・果物の特徴、見分け方、保存方法や調理方法などを調べ、ポップにはだのじばさんず店内に掲示し、多くの消費者に紹介しています。

平成20年、食育について知識を深めたいと模索していた時、新聞で野菜ソムリエの記事に出会い、インターネットで野菜ソムリエの資格にアクセスしました。

自分を試すため固い頭を使いながら学習し、ジュニア・ベジタブル&フルーツマイスター、通称『野菜ソムリエ』の資格を取得することができました。

はだのじばさんずに出荷している野菜ソムリエ資格者で立ち上げた『はだの野菜ソム



たばこ祭りでは、『農村レストラン』、市民の日や農業祭での出店、スポーツ少年団の駅伝大会ですいとんの提供などを行いました。そして今年4月より『農村レストラン』での弁当作り、ヘルシー料理教室の野菜紹介など活動の場が広がり、地産地消を次世代に伝え、地域の安全・安心な食育活動に取り組んでいます。

栽培期間中の農薬を使用しない季節の野菜作り、キウイフルーツ、ブルーベリーの栽培、梅・桜の塩漬けの加工など、主人と50アールの畑で行錯誤しながら営農しています。

す。また、保育園やコミュニティ保育のじやがいもの掘取り体験など子育て支援も行っています。

おかげさまで、6人の孫も無農薬の野菜を食材として元気に成長しております。共働きの娘夫婦と孫3人、主人と私、健康に過ごしてこれた家族のおかげで、私は食育活動の場を広げ、栽培した野菜を有効活用するために、菓子パン製造と食品加工所を兼ねた野菜ソムリエのお店「開戸」を自宅敷地内にオープンし3年目になります。

食の安全・安心・満足をモットーに、野菜の生産から加工・販売に取り組んでおります。

就農してから・・・

成田 洋（鶴巻南3丁目）



サラリーマンを辞めて早くも7年が経ち、バラ栽培も8年目に入ろうとしています。当初家業を継ぐ気が全く無かった私にとってバラ栽培は、覚える事ばかりで悪戦苦闘の毎日でした。

まずは、我が家で栽培している品種名を覚える事に始まり、花切り・出荷準備と時間に追われる日々でした。3年が経過し、やっとバラの事が分かってきた中で疑問が多く浮かんできました。当時の我が家の栽培方式では、市場に出荷できないものがあり、ロスが発生していました。原因は人材不足によって手入れ時間が足りない事でした。そこで、5年程前から本で読んでいた栽培技術や、同じバラ生産者の方々など多くの人の意見を聞かせて頂いたり、見学などをさせて貰い、我が家に合う栽培方式を色々試した結果、3年程前からようやく形になってきました。

しかし、まだ完成形とは言えず改良したい所が多くあるのが現状です。だからこそバ

ラ栽培は面白く奥が深いと思っています。

昨今の重油の急騰、消費の低迷などバラ業界は苦境に直面していますが、そんな状況だからこそ私は今できる事を足りない頭で考え、浮かんできたアイデアや見学先で見付けた技術をトライして行きたいと思っています。

私が求める良いバラを、ロスなく作り、多くの人が我が家のバラは良いバラだと思つて貰えるように、日々の観察と努力を惜しまず、がむしゃらにバラと向き合つて行きたいです。

生産管理、品質管理、経営管理と農家は全てをやらなければなりません。だからこそ難しく楽しいのだと思います。全てを自分で行うために失敗の責任も自分に返ってきますが、この苦境の時代をいかに楽しく、いかに面白くバラ栽培を続けて行けるかを日々考え、努力して、昨年の私より少しでも成長していけたらと思っています。

「農業者と市民が育む」

農のある快適なまちの美現を目指して

平成25年度 秦野市農業関係予算

本市の農業の特徴でもある多様な農産物の供給と、多面的な機能を将来にわたり維持するために、農業者、市民、関係団体及び行政が一体となり、農業・農地がもたらす様々な恵みを生かした、農のある快適なまちづくりを推進します。(※ 問い合わせは、農産課)

① 農業経営基盤強化の促進

本市の中核的な農業者である認定農業者等で組織する「秦野市認定農業者協議会」

が実施する経営向上に向けた研修事業の実施や、地域での経営規模拡大・農地集積に向けた資本整備への取り組みに対して、引き続き支援し、認定農業者の経営の安定化並びに育成を図っていきます。

② 「農」の担い手の育成



「はだの市民農業塾」で新規就農を目指す塾生

「農」の担い手育成につきましては、「人・農地プラン」の計画を推進するため、国の新規就農総合支援事業の導入を図るとともに、新規就農者への就農支援事業の実施や農業関連団体が実施する農業後継者の育成事業や市民の農業理解の促進に向けた事業に対する支援を行います。

③ 地産地消の推進

市民への安全・安心な農産物の供給と地場農産物への消費拡大を目指し、「地産地消プログラム」に基づき、生産者や消費者、商工業関係者、学校、食育・健康関係者など一体となった幅広い地産地消活動の普及・定着を推進していきます。

また、国の環境保全型農業直接支払補助制度を活用し、神奈川県が認定する「エコファーマー」の育成・確保に取り組みなど本市における環境保全型農業の導入・普及の推進に努めます。

・農業振興費	32,124千円
・園芸畜産業費	13,871千円
・農地費	67,968千円

サルの追い払い実施中

定着防止が重要

秦野市では現在、東地区に出没する「子易群」大根地区に出没する「大山群」2つの群れを確認し、サルに装着された電波発信機の電波を受信し追跡、追い払いを行っています(サルの位置情報は市のHPで公開中)。



追い払いを行うパトロール隊

追い払い方法には、エアガンや煙火(動物撃退用の花火)

④ 農産物ブランド化の推進

本市農産物の安全・安心を基本に、「優良農産物等登録認証制度」により優良農産物として認証し、地場農産物として認証し、地場農産物を消費者に分かりやすく紹介し生産者の生産意欲の向上と消費拡大の推進に努めます。



認証された梨とブルーベリー



監視パトロールを行っていますのでご協力をお願いします。

サルによる農作物への被害を防止するため、未収穫農作物の撤去を徹底し、人里に定着させない事が重要です。また、追い払いに使用する煙火は農協各支所で配布しています。問い合わせ先

環境保全課 鳥獣対策担当 82-9618

相談コーナー



Q 高齢で農地を耕作できなくなってしまうし、た。耕作してくれる人に貸したいと思っていますが、一度農地を貸してしまうと、戻ってこないなど心配があります。安心して農地を貸し借りできる制度はないでしょうか？

A 農業委員会が間に入り、農地の貸借をする方法として、農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定という制度があります。手続きも簡易で、次のようなメリットがあります。

◎ 貸借に際し、農地法の許可が不要です。
 ◎ 農業委員会が仲介するので、安心して貸し借りができます。
 ◎ 簡易な手続きで申請ができます。



詳しくは、地域の農業委員会か農業委員会事務局までご相談下さい。

◎ あらかじめ貸借期間を決めておき、期限がきた農地は必ず地主に返還されます。
 ◎ 貸借期間が終了しても、引き続き貸借を希望する場合は、更新の手続きを行います。また、終期は、農業委員会からお知らせします。
 ◎ 離作料を払うことなく貸人である農地所有者に返還されるので安心して貸付することが出来ます。

◎ 貸借期間中の解約には双方の合意が必要なので、期間中は借人も安心して耕作することが出来ます。
 このように、貸主・借主双方にメリットがある制度です。農地基本台帳に登録された農業従事者など、一定の条件を整えば、借りる事ができます。

農地転用には許可が必要です。

農地を農地以外の用地にするには必ず農地転用の許可を受けなければなりません。農地以外の例……

- 住宅、工場等の建物敷地、資材置場、駐車場、道路、水路、山林など

農地転用許可制度は、食料の安定供給の基盤である優良農地の確保と、農業以外の土地利用との調和を図り、農地転用を農業上の利用に支障が少ない農地に誘導することを目的としています。

- 手続きは……
- 市街化調整区域内の許可申請は毎月10日までです。
 (事前に相談が必要になりますので、早めに相談して下さい。)
- 市街化区域の届出は随時受け付けています。



転用の相談は農業委員会事務局まで。
 ※違反転用したり、許可どおりに転用しないと、現状回復等の命令、罰則の適用があります。

農業委員会活動報告 (平成25年3月～6月)

- 総会
 主な審議案件と件数は下表のとおり
 3月25日、4月25日
 5月27日、6月25日
- 運営委員会
 3月18日、4月12日
 5月16日
- 編集委員会
 5月27日、6月25日

総会の主な審議案件と件数 (3月～6月)

審議案件	件数	面積
耕作目的の売買・賃貸 (3条許可)	8	18,550.61
市街化調整区域内の転用 (4・5条許可)	11	10,870.83
市街化区域内の転用 (4・5条届出)	71	24,955.71
相続等による農地取得の届出 (3条届出)	30	104,605.43
相続税納税猶予	3	12,228.78



平成25年度全国情報会議に出席した委員ら

- 全国情報会議
 4月10日 東京都文京区
- 全国農業委員会会長大会
 5月30日 東京都日比谷



ゴールを目指そう!!

デントコーン迷路



農家の後継者たちで結成されている秦友会（原秀徳会長）が田原ふるさと公園近くの畑に牛の飼料となるデントコーンで迷路を作りました。

～昨年の様子～



ゴールはどこかな？

～草刈り中～
(6月上旬)



夏の日の思い出に...



多くの方のご来場をお待ちしております!!



◎場所 東田原961、962

◎期間 7月27日(土)～8月31日(土)

※7月27日(土) 午前10時～午後4時

迷路を活用したクイズやバター作り体験、模擬店などのイベントも開催します。

問い合わせ先 JA はだの組織教育課

81-7714

節税効果大きい

農業者年金で老後の生活をサポート

農業者年金は、加入者数・受給者数に影響されにくい個人ごとの積立方式(確定拠出型)の公的年金です。貯蓄の感覚で加入し税制メリットを受け実質所得の向上を図りましょう!

◎支払う掛金は、全額社会保険料控除の対象(最高で年額804,000円)となります。

◎所得税・住民税が節税になります。これにより掛金の15%～30%程度の節税効果があります。(ご自身の年金でなくても大丈夫)

◎将来受け取る年金も、公的年金等控除が適用されます。

次の要件を全て満たす方ならどなたでも加入できます。

- ① 60歳未満の方
- ② 年間60日以上農業に従事
- ③ 国民年金第1号被保険者

■ 問い合わせ

農業委員会事務局 82-9654

JAはだの営農課 81-7718

全国農業新聞

全国農業新聞は、最新の農業情勢の提供と解説、先進農家の経営紹介、農業入門など読んで役立つ情報が満載です。

○毎週金曜日発行

○購読料 月600円

○お申し込みは、地元の農業委員

または、農業委員会 ☎82-9654

秦野市では人と農地の問題を解決するため各地域ごとに新たに「人・農地プラン」を作成しました。農業委員会でもそれぞれの地域にあった力強い継続可能な農業を目指して、市や関係機関と協力しながら課題に取り組みたいと思います。

これからの季節、暑い中での除草など、農作業は大変な季節になりますが、皆さん、体調には気を付けて無理せず楽しく農業をしましょう。

(編集委員 石井 弘)

編集後記

第19回
全国報徳サミット
秦野市大会

平成25年
10月19日開催



にのみやそんとくん